

## 〔雄 川〕

雄川の清水橋から下流約300mの区間および、鏑川合流より上流約300mの区間は、現状では十分な河積（川の断面積）が確保されていない。

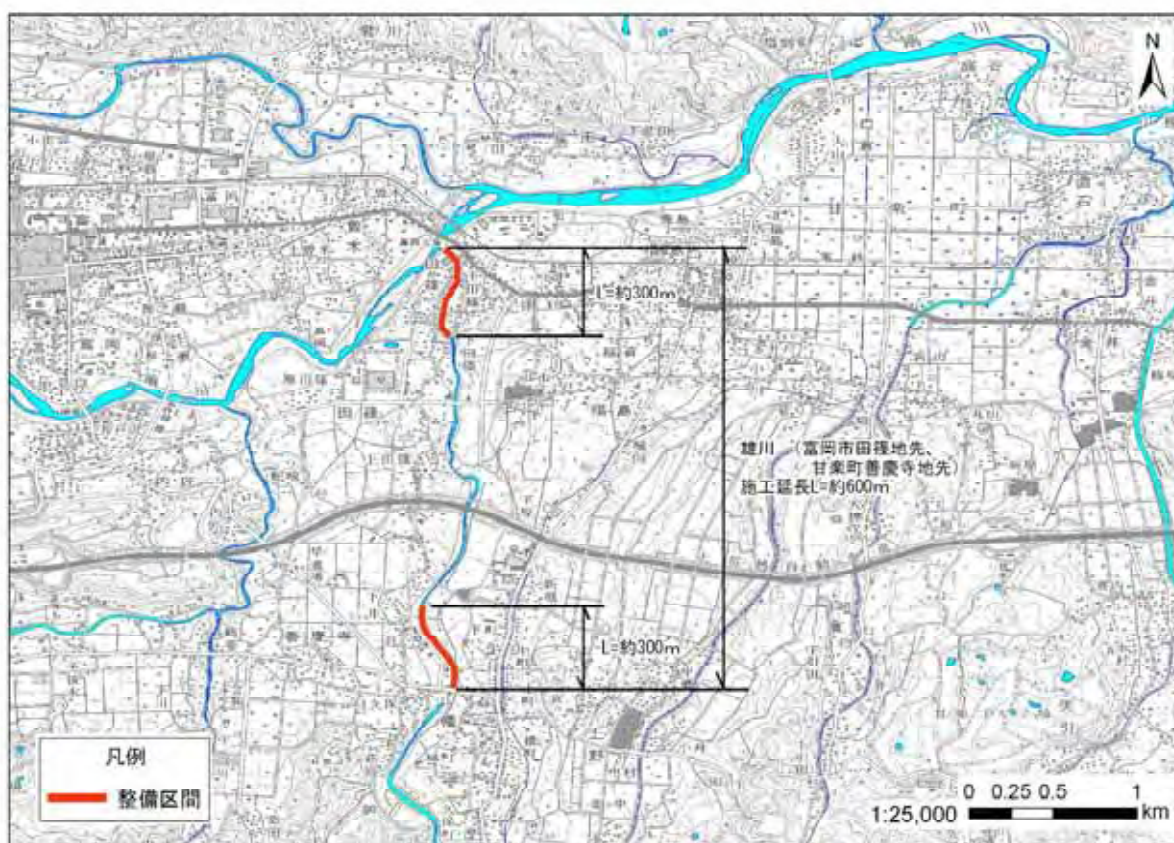
このため、河道の拡幅、河床掘削等により、概ね30年に1回程度発生すると予想される洪水による家屋の浸水被害を防止する。

改修に当たっては、自然石等の自然な素材や地被植物が生えやすい多孔質なブロック等を使用し、自然豊かな水際の整備に努める。

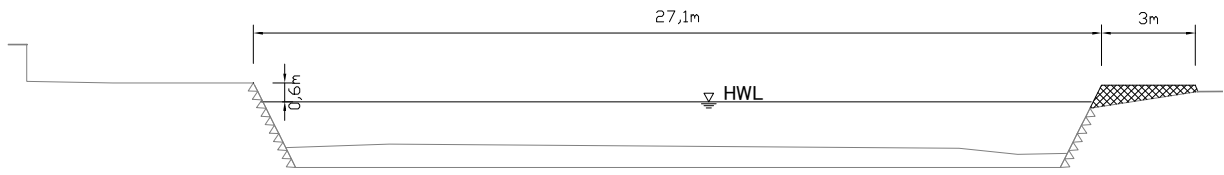
施工区間 鏑川合流から清水橋まで

延 長 L = 約600m

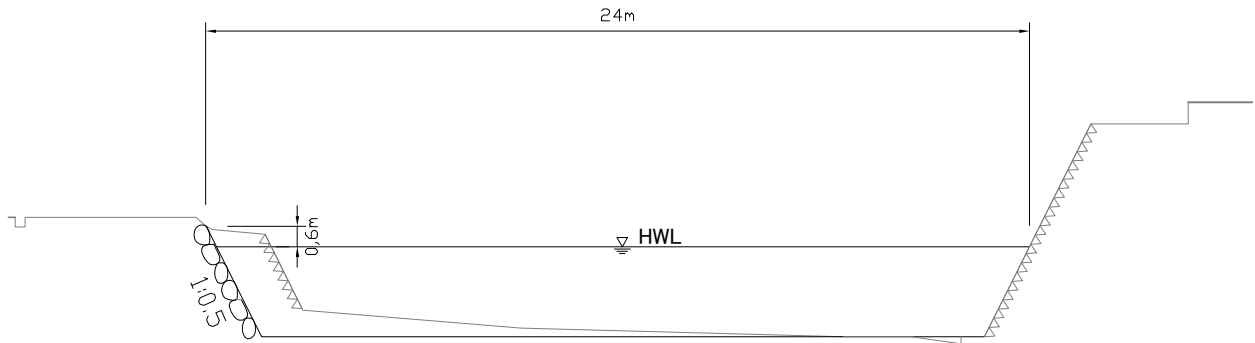
整備内容 河道掘削工、護岸工、築堤工



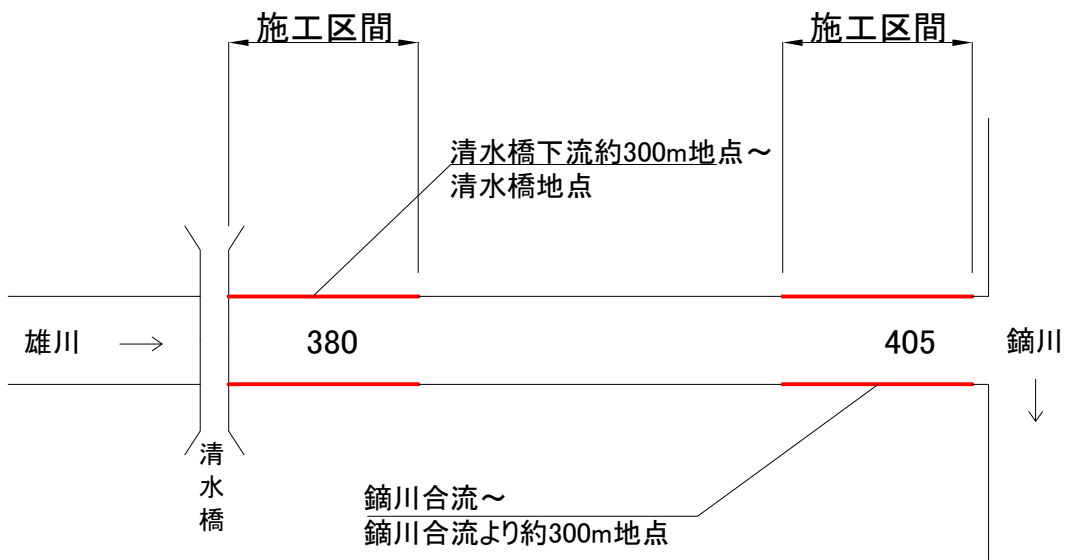
平 面 図



代表横断面図（鏑川合流上流約300m地点）



代表横断面図（清水橋下流約200m地点）



(単位：m<sup>3</sup>/s)

計画流量配分図